

報 告 書

(村 武 班)

開 催 日 時	令和元年 5 月 16 日 (木) 午後 7 時～8 時 30 分	
開 催 場 所	今市公民館	
出 席 議 員	川神 裕司 議長、西村 健、永見 利久、笹田 卓、野藤 薫、村武 まゆみ	
	司会者	村武 まゆみ
	予算報告者	野藤 薫
	ファシリテーター	西村 健、笹田 卓、野藤 薫
	記録者	永見 利久
参 加 人 数	45 人	
主 な 要 望 ・ 提 言 等	<p>テーマ 1 (高齢者の移動・買い物手段の確保)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者 (歩行困難者) に声掛けして、必要なものを買ってきてあげたりする、お互い様の気持ちにあふれる地域を作りたい。 ・免許の返納をしたくても、知人を車に乗せないといけないという理由で返納できない人がいる。タクシーの充実をして欲しい。 ・今市でガソリンスタンドがないので困っている。 ・旭町内でコミュニティバスの巡回をして欲しい。朝病院に行っても、夕方まで帰ることができない。 ・買い物送迎、事業所が無料で行って欲しい。 	
	<p>テーマ 2 (地域 (集落・産業) の後継者対策)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収入の安定化、年収 300 万円程度確保できる仕事が必要。 ・若者と交流できる行事などの企画。 ・地域の話し合いで飲食を共にし、話すことのできる場所と機会を作る。 ・一つの地域だけでなく、近隣地域との交流し、協力して課題に向けて取り組む必要がある。 ・毎年の行事の在り方、今後どうしていくか地域での話し合いが必要。 ・集まりやすい環境の仕組み作り。 ・働く場所の確保が必要。 	

<p>主な要望・提言等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域間交流は市内と山間部で行い、活性化へ繋げる情報交換の場づくりが必要。 ・若い人に合わせて集落運営を行う。 ・中心地は黙っていても良くなるので、田舎を良くする方法を考える。 ・作る楽しさを教える、教わる。 ・若い人に農業を知ってもらう。(体験等) ・若い人の出番を意欲的に作る。 ・農業を興す必要がある。 ・空き家を活用して、若い人達の情報交換や物づくりの拠点になればよい。 ・都市部に出ている人達に帰ってもらえるようにPRする。 ・子ども達が地域に残れるような教育をする。将来への投資をして欲しい。 ・商いを目的とした、チャレンジショップを開催し、若者と高齢者の交流の居場所づくりをする。 ・神楽を宮に観に来てもらう仕組みづくり。 ・腹を割って話し合うことができない。 ・人も産業もエネルギー(力)がない。 ・まずは自分の地域から話し合っ、取り組むことを考えてみては。 ・年収が低くても、住みやすく満足度が高ければ若者も住んでくれるのではないか。(若い方の意見) ・田と畑の魅力を発信。
	<p>【その他要望・意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産婦健康検査事業：浜田市民のみの対象事業だと思うが、里帰り出産も対象に入れて欲しい。

浜田市議会議長 川 神 裕 司 様

令和元年 5 月 22 日

浜田市議会報告会規程第 9 条第 1 項の規定により提出します。

村武 班

代表者 村武 まゆみ